

スズサイコ

ガガイモ科

Cynanchum paniculatum (Bunge) Kitag.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少，局限・孤立

【形態など】

多年草。草丈は40～100cm。茎は細くて固く，直立する。葉は対生し，線状披針形で，長さは6～13cm，先が鋭く尖る。花期は7～8月で，茎頂の葉腋から花序を出し，まばらに黄褐色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では，海岸付近で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少，農地の改変



撮影：市域内
写真撮影：刈屋 寿

シソバタツナミ

シソ科

Scutellaria laeteviolacea Koidz. var. *maekawae* (Hara) Hara

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

採取，希少

【形態など】

多年草。草丈は5～30cm。葉は卵形または長卵形で，やや厚みがあり，開出毛が多い。また，葉の表面は脈に沿って白斑があり，裏面は紫色を呈する。花期は5～7月で，茎の先に花序を出し，紫色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では，丘陵で確認されている。

その他 本州に分布する。

【減少等の原因】

採取，森林の改変，一般開発



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

ナミキソウ

シソ科

Scutellaria strigillosa Hemsl.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	---------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は10～40cm。細長い地下茎があり、茎が分枝する。葉は対生し、長楕円状披針形で、長さは1.5～3.5cm、縁には鈍い鋸歯がある。花期は6～9月で、対生した葉腋から濃紫色の2つの花が同方向を向いてつく。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新潟、豊栄、岩室及び巻地区で確認記録がある。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変、観光開発



撮影：市域外
写真提供：笹川 通博

マルバノサウトウガラシ

ゴマノハグサ科

Deinostema adenocaulum (Maxim.) Yamazaki

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は10～15cm。茎は軟弱で、直立する。葉は柄がなく卵円形で、5～7本の脈があり、長さは0.5～0.8cm。花期は8～10月で、茎の上部の葉腋から1～2cmの柄を伸ばし、紫色の花をつける。花冠は2唇形で、下唇が大きく、下唇の中裂片は2裂する。

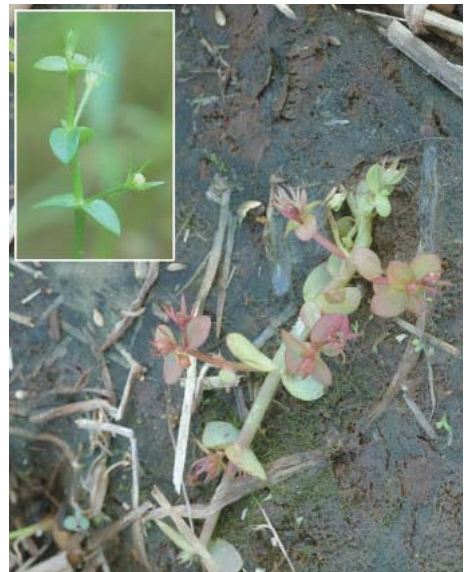
【分布の状況】

市内 市内では、湖沼や水田地帯で確認されている。

その他 本州、四国、九州の暖帯域に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

イヌノフグリ

ゴマノハグサ科

Veronica polita Fries subsp. *lilacina* (Yamazaki) Yamazaki

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

越年草。草丈は10～25cm。茎は下部で分枝し、地を這って広がる。葉は茎の下部では対生し、上部では互生する。葉身は卵円形で、辺縁には数対の先の鈍い鋸歯があり、両面に毛が散生する。花期は3～4月で、茎の上部の葉腋に1個ずつ花をつける。花冠は淡紅白色で紅紫色の条があり、直径3～4mmで4裂する。



撮影：市域外 写真提供：石澤 進

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に白根、豊栄、岩室及び巻地区で確認記録がある。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

移入種の侵入

オミナエシ

オミナエシ科

Patrinia scabiosifolia Fisch. ex Trevir.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少、採取

【形態など】

多年生。草丈は60～100cm。茎は直立し、茎の下部に粗毛がある。葉は狭く羽状で対生する。花期は8～10月で、5裂する黄色い花をつける。花序は上部でほぼ平らになる。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新潟、新津、岩室及び巻地区で確認記録がある。

その他 北海道、本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、河川の改変、観光開発



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

【特記事項】

秋の七草の一つとして挙げられる。

ナベナ

マツムシソウ科

Dipsacus japonicus Miq.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

越年草。全体に剛毛がある茎は、直立してよく分枝し、長さは100cmを超える。葉は羽状全裂、葉縁には鋸歯がある。花期は8～9月。線形の苞が1列に並び、反り返る。

【分布の状況】

市内 市内では、過去に山地に生育していたが、今回の市内現地調査では確認できなかった。

その他 本州以南から九州にかけて分布する。

【減少等の原因】

草地の減少、農地の改変、観光開発



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

シロヨモギ

キク科

Artemisia stelleriana Besser

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は20～60cm。地下茎を長く伸ばして増える。全体的に雪白色で、葉は厚く、長さは3～9cm、卵形で2～3対羽状に中裂する。円錐花序をつけ、頭花は球形である。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 北海道、本州（茨城県、新潟県以北）に分布する。

【減少等の原因】

人の立入、一般開発



撮影：市域内 写真提供：久原 泰雅

アギナシ

オモダカ科

Sagittaria aginashi Makino

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 準絶滅危惧	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	--------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は50～80cm。葉は束生し、長い葉柄があり、細い矢じり形である。また、頂裂片は広披針形～線形、長さは7～17cmである。花期は7～10月で、花茎の上部に枝を3個ずつ輪生する総状花序をつくり、3弁の白い花をつける。雄花は花序上部に多数あるが、雌花は花序下部に少数しかない。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新潟、豊栄及び潟東地区で確認記録がある。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、観光開発、農薬使用、水質汚濁



撮影：市域外 写真提供：石澤 進

ウリカワ

オモダカ科

Sagittaria pygmaea Miq.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。葉長は10～20cm、花茎長は8～20cm。葉は根生し、線形で両面無毛である。花期は6～10月で、総状花序に倒卵形で3弁の白い花をつける。雌雄異花で、上部が雄花、下部が雌花となる。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

セキショウモ

トチカガミ科

Vallisneria natans (Lour.) Hara

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，沈水植物。葉は根生し，線形で鈍頭である。上部の縁に細かい鋸歯がある。花期は6～10月で，花は雌雄異株。雌株は細長い花柄を水面まで伸ばして雌花を水面に浮かべる。一方，雄株は葉の基部の苞鞘に多数の雄花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では，河川で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：笹川 通博

オオミズヒキモ（カモガワモ）

ヒルムシロ科

Potamogeton kamogawaensis Miki

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，沈水～浮葉植物。沈水葉は長さ5cm以上となる。沈水葉が線形，浮葉が長楕円形である。

【分布の状況】

市内 市内では，河川で確認されている。

その他 本州，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

センニンモ

ヒルムシロ科

Potamogeton maackianus A. Benn.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，沈水植物。葉長は2～6cm。地下茎は横走し，節からよく分枝する水中茎を出す。葉は互生し，すべて沈水葉である。また，無柄で線形であり，辺縁には細かい鋸歯がある。葉の基部は托葉と合着して葉鞘となる。花期は6～8月だが，開花することは少ない。

【分布の状況】

市内 市内では，河川付近や水田地帯で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域外
写真提供：松岡 成久

オヒルムシロ

ヒルムシロ科

Potamogeton natans L.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，浮葉植物。地下茎は横に這い，1節おきに水中茎を出す。沈水葉は互生し，線形でほとんど葉身がない。この「沈水葉が線形であること」が他の浮葉性のヒルムシロ属からの区別点となる。また，浮葉は長楕円形～広楕円形で，長い葉柄があり，穂状花序の下では対生する。花期は5～8月。

【分布の状況】

市内 市内では，池沼で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域外
写真提供：青木 繁伸

イトトリゲモ

イバラモ科

Najas japonica Nakai

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草，沈水植物。草丈は10～30cm。茎は細く，分枝を繰り返す。葉は糸状で，茎の各節に5輪生状につく。葉はトリゲモ類の中で最も細い。葉のふちに細い鋸歯がある。花期は6～9月で，葉腋に1個の雄花と2個の雌花をつける。



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【分布の状況】

市内 市内では，丘陵で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用，水質汚濁

ヒオウギ

アヤメ科

Belamcanda chinensis (L.) DC.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

採取

【形態など】

多年草。草丈は50～120cm。地下茎は短く這い，地上茎は直立して上部で分枝する。葉は互生し，広い線形，長さは30～50cm，先端は鋭尖頭，中脈に沿って表面を内にして折れて剣状になり，葉色は緑色で多少粉白を帯びる。花期は8～9月で，分枝した枝先に橙黄色の花をつける。



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

【分布の状況】

市内 市内では，山地で確認されている。

その他 国内では，北海道を除いた各地に分布する。

【減少等の原因】

採取，草地の減少，一般開発

カモノハシ

イネ科

Ischaemum aristatum L. var. *glaucum* (Honda) T. Koyama

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は30～70cm，稈を束生し，基部は倒伏状になる。葉はまばらに互生し，葉身は線形で，長さは15～30cm，先端が尖る。花期は夏から秋で，花序が2本密着して直立し，鴨のくちばしのように合わさっているのので，単穂状にみえる。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが，過去に新潟地区で確認記録がある。

その他 本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少，水湿地の減少，農地の改変



撮影：市域内
写真提供：笹川 通博

ヤマトミクリ

ミクリ科

Sparganium fallax Graebn.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，抽水植物。草丈30～60cm。葉は互生して立ち，裏面には稜がある。花期は7～8月。雌性頭花は3～6個あり，すべて葉腋の上から出る。雄性頭花は5～9個あり，互いに離れてつく。

【分布の状況】

市内 市内では，山麓の湿地にわずかながら生育している。

その他 本州（関東地方以西），四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，観光開発



撮影：市域外
写真提供：青木 繁伸

アワボスゲ

カヤツリグサ科

Carex brownii Tuckerm.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は30～70cm。株元から茎が叢生する。茎は3稜で、基部には暗紫黒色の鞘状葉があり、匍枝がない。花期は4～6月で、頂近くに2～3穂をつけ、頂小穂が雄性、側小穂が雌性である。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新津地区で確認記録がある。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

スジヌマハリイ

カヤツリグサ科

Eleocharis equisetiformis B. Fedtsch

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少，局限・孤立

【形態など】

多年草，水生・湿生植物。草丈は30～60cm。茎は細い円柱状で、明確な縦稜がある。葉は鱗片状に退化する。7～9月，茎頂に1つの小穂をつける。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新潟地区，岩室地区で確認記録がある。

その他 国内では，本州（山梨県）と九州に採取記録がある。

【減少等の原因】

水湿地の減少，観光開発



撮影：市域内
写真提供：新潟市

クロテンツキ

カヤツリグサ科

Fimbristylis diphyloides Makino

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草または多年草。草丈は20～30cm。茎は叢生し、基部には葉身の無い葉鞘がある。花序には多数の小穂がつき、苞葉の葉身は花序よりも短い。小穂は卵形で、鈍頭。色は黒褐色だが、乾くと淡褐色になる。鱗片は褐色で、中肋は緑色である。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に豊栄、小須戸、岩室及び巻地区で確認記録がある。

その他 本州（関東地方以西）、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変



撮影：市域外
写真提供：松岡 成久

ヒメホタルイ

カヤツリグサ科

Scirpus lineolatus Franch. et Savat.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草、水生・湿生植物。草丈は7～20cm。茎の基部に1～2個の鞘状葉があり、茎を包む。苞葉は直立し、花序は茎に側生状。花序は通常無柄で、狭長楕円形で黄褐色を呈し、小穂が1個つく。秋季に地下走出枝の先に紡錘形の越冬芽ができる。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新潟地区、巻地区で確認記録がある。

その他 北海道、本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、観光開発、農業使用、水質汚濁



撮影：市域外
写真提供：中村 俊之
有限会社ウェットランド研究所

トケンラン

ラン科

Cremastra unguiculata (Finet) Finet

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

落葉広葉樹林内に生える多年草。地下に偽球茎があり、細長い地下茎で連結する。葉は2枚が偽球茎から頂生し、長さ10~12cm, 長楕円形, 鋭頭, しばしば紫斑点がある。花期は5~6月で、数個の花をまばらにつける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地に希に生育している。

その他 北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。

【減少等の原因】

人の立入, 採取, 草地の減少, 河川の改変, 農地の改変

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域外
写真提供：中野 宏一郎

イヌマムカゴ

ラン科

Tulotis iinumae (Makino) Hara

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅰ類	新潟県 絶滅危惧Ⅰ類	環境省 絶滅危惧ⅠB類
-------	---------------	---------------	----------------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

山地の林下に生える多年草。草丈約30cmの茎の中ほどに2枚の葉があり、その上部には披針形の鱗片葉がつく。葉は長楕円形, 長さは8~15cm, 基部は鞘になる。花期は7~8月で、茎の先に穂状花序を出し、黄緑色の小さい花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地に希に生育している。

その他 北海道南部, 本州, 四国, 九州に分布する。

【減少等の原因】

採取, 森林の改変, 農地の改変, 観光開発



撮影：市域外
写真提供：中野 宏一郎

ヒモカズラ

イワヒバ科

Selaginella shakotanensis (Franch. ex H. Takeda) Miyabe et Kudô

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

岩上に生える常緑性シダ。茎は短く這い、多数分岐し、重なり合ってマット状になる。葉は多列に茎に圧着してつき、濃緑色で、やや硬い線状披針形である。孢子囊穂は四角柱状で、小枝の先端に一つずつ生じる。孢子葉は長卵状披針形で、4列に並ぶ。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸近くの山地で確認されている。

その他 北海道、本州（近畿地方以西）に分布する。



撮影：市域内 写真撮影：刈屋 寿

【減少等の原因】

採取, 観光開発

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

タチシノブ

ホウライシダ科

Onychium japonicum (Thunb. ex Murray) Kunze

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 分布限界

【形態など】

常緑性シダ。根茎は細く、地中を長く這う。葉柄はわら色、下部が紫褐色である。基部に披針形、茶褐色の鱗片がつく。孢子葉の葉身は卵状披針形の3～4回羽状深裂、緑色の硬い草質である。裂片は細長く、鋭尖頭。葉は多少とも二形となる。栄養葉は小型で切れ込みが浅く、葉質も柔らかい。孢子囊群は長さ5mm程度で、淡褐色である。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（福島県、関東地方以西）、四国、九州、沖縄県、小笠原に分布する。



撮影：市域内
写真撮影：石澤 進

【減少等の原因】

一般開発

イノモトソウ

イノモトソウ科

Pteris multifida Poir.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

常緑性シダ。短い根茎から葉を密に叢生する。葉柄はわら色で、基部鱗片は黒褐色。葉は二形で、薄い紙質である。葉身は単羽状複生で、羽片の辺縁は鋸歯状である。孢子嚢群は羽片の辺縁に沿って長くつく。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（東北地方以南）、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

タニヌワラビ

イワデンドコ科

Athyrium otophorum (Miq.) Koidz.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

常緑性シダ。葉柄は紅紫色、基部が暗褐色で、密に鱗片がつく。基部の鱗片は披針形で、光沢のある黒色～黒褐色である。葉身は卵状長楕円形の2回羽状複生で、緑色～鮮緑色のやや厚い草質である。羽片と小羽片は無柄であり、また、小羽片は先が短く尖ってやや刺状になる。孢子嚢群は小羽片の中肋に接してつく。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（山形県、千葉県以西）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ハシゴシダ

ヒメシダ科

Parathelypteris glanduligera (Kunze) Ching

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

常緑性シダ。根茎は地中を長く這う。葉柄はわら色で毛が生え、下部が暗褐色である。葉身は披針形の2回羽状深裂で、光沢のない黄緑色～緑色の柔らかい紙質である。孢子嚢群は裂片の辺縁近くにつく。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 秋田県以南の本州から奄美諸島にかけて分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

イノデモドキ

オシダ科

Polystichum tagawanum Sa. Kurata

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

常緑性シダ。根茎は短く直立して塊状となる。葉柄は葉身より短く、辺縁に著しい突起のある鱗片が密生する。葉身は披針形の2回羽状複生、光沢があり、濃緑色、厚みのある草質である。孢子嚢群は円形で、小羽片の辺縁寄りにつく。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 本州（秋田県以南）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

ヒメカナワラビ

オシダ科

Polystichum tsus-simense (Hook.) J. Sm.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少，局限・孤立，分布限界

【形態など】

常緑性シダ。葉身は長三角形状披針形の2回羽状複生で，光沢があり，緑色，革質である。葉柄は葉身とほぼ等長，基部に褐色～黒褐色の鱗片がつく。孢子嚢群は葉身の下部中軸側から外に向かってつきはじめ，小羽片の中肋寄りにつく。

【分布の状況】

市内 市内では，丘陵で確認されている。

その他 本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【特記事項】

1個体（単体）の確認が1例である。
別名：キヨズミシダ

サンショウモ

サンショウモ科

Salvinia natans (L.) All.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年生の水生シダ。葉は楕円形で，長さは1～2cm，表面に微細な突起が密に生える。対生状につく葉の同位置から水中葉が伸び，養分を吸収する。茶褐色で球状の孢子嚢をもち，大小二型がある。

【分布の状況】

市内 市内では，池沼や水田で確認されている。

その他 本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

サデクサ

タデ科

Persicaria maackiana (Regel) Nakai

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草，湿生植物。草丈は40～100cm。茎は斜めに立ち，下部より直立する。また，多くの枝を分けるとともに，鋭い下向きの刺毛がある。葉は披針形のほこ形で，先が尖り，長さは3～8cm。両面に星状毛を密生し，葉鞘の縁は緑色を呈す。花は紅色で数個ずつ集まって花序となり，花被は下方が白く，先が紅色である。



撮影：市域内
写真提供：新潟市

【分布の状況】

市内 市内では，湖沼付近の湿地で確認されている。

その他 本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変

ヌカボタデ

タデ科

Persicaria taquetii (Lév.) Koidz.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。茎は細く，下部は地を這って節から根を出し，上部は直立する。葉はほぼ無柄，葉身は長披針形で，両端が細まる。花期は9～11月。総状花序はまだらで細長く，先端が垂れる。がくは5深裂し，先端が紅色またはほとんど白色である。



撮影：市域内
写真提供：狩野 裕章

【分布の状況】

市内 市内では，湖沼付近の湿地で確認されている。

その他 本州から九州にかけて分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変

ノダイオウ

タデ科

Rumex longifolius DC.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は60～120cm。下葉は長柄があり、長楕円形で先は円形から鈍頭である。上葉は次第に小さくなり披針形である。果の翼状顎片は、ほぼ全縁で、中脈はふくれない。

【分布の状況】

市内 市内では、河川付近で確認されている。

その他 北海道、本州（中部地方以北）に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ツルナ

ツルナ科

Tetragonia tetragonoides (Pall.) O. Kuntze

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

海岸砂地にはえる多肉質の多年草。植物体は全体厚ぼったく無毛，細かい粒状突起があつて，全体が白い粉でおおわれたようで，ざらついている。茎は長さ40～80cmで，よく分枝し，下部が地上を這い，上部が斜上する。葉は互生，有柄，菱形状卵状三角形。花は葉腋に1～2個つく。

【分布の状況】

市内 市内では，海岸で確認されている。

その他 北海道西南部から沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

観光開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

ハマハコベ

ナデシコ科

Honkenya peploides (L.) Ehrh. var. *major* Hook.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は10～30cm。地下茎が長く、茎は細かく枝が分かれる。また、茎の下部が斜上し、上部が開出する。葉は黄緑色で、多肉質の長楕円形であり、先が尖る。両性花の株と単性花の株に分かれる。花は白色で、頂生か腋生である。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 北海道、本州（主に日本海側）に分布する。

【減少等の原因】

観光開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

サネカズラ

マツブサ科

Kadsura japonica (L.) Dunal

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少、分布限界

【形態など】

常緑のつる性木本。古い茎はコルク質の皮層が発達する。葉は無毛で、長さは5～13cm。先端はやや尖り、革質。縁には荒い鋸歯があるが、林床に生育する若い個体では鋸歯が目立ち、日当たりの良い場所の葉は鋸歯が低くなる。葉の裏面には、しばしば赤味を帯びた斑紋ができる。雌雄異株で、8月頃に黄白色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地や丘陵で確認されている。

その他 本州（関東地方以西）、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

オニバス

スイレン科

Euryale ferox Salisb.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少，分布限界

【形態など】

一年草，浮葉植物。葉径は100～200cm。葉の表面は凹凸があり，肥厚した葉脈が葉の構造を支える。葉の裏や葉柄，花には多数の刺がある。閉鎖花をつけ，自家受粉を行う。花期は8～10月で，濃紫色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では，湖沼や池沼で確認されている。

その他 本州，四国，九州に分布するが，生育地は局限される。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用，水質汚濁

【特記事項】

新潟県は全国分布の北限。



撮影：市域内
写真提供：新潟市

マツモ

スイレン科

Ceratophyllum demersum L.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，沈水植物。草丈は20～80cm。葉は針状葉の途中から2～3枝に分岐する。鋭頭で基部は各節に4～8枚の葉が輪生し，長さは1.5～2.5cm。地下茎はなく仮根で地に付く。雌雄同株だが，別々に分かれて同じ茎の節にそれぞれ1個ずつつく。

【分布の状況】

市内 市内では，河川や池沼，用水路などで確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ウマノスズクサ

ウマノスズクサ科

Aristolochia debilis Sieb.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，つる性植物。草丈は1m程度。葉は三角状狭卵形で，長さは4～7cm，先が鈍頭である。花期は6～8月で，黄緑色～茶褐色の花をつける。花弁はなく，萼筒が細く上方へ曲り，ラッパ状になる。

【分布の状況】

市内 市内では，河川付近で確認されている。

その他 本州（関東地方以西），四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

河川の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ヤマシャクヤク

ボタン科

Paeonia japonica (Makino) Miyabe et Takeda

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少，採取

【形態など】

多年草。草丈は30～40cm。茎に3～4枚の茎葉を互生し，基部には数枚の鱗片がある。葉は2回3出複生，小葉は楕円形～倒卵形で，裏面は白色を帯びる。花期は5～6月で，茎の先端に5～7弁の白い花を1個つける。

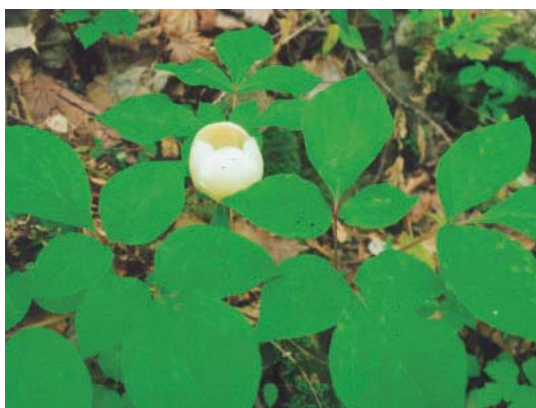
【分布の状況】

市内 市内では，山地で確認されている。

その他 本州（関東・中部地方以西），四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

採取



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

トモエソウ

オトギリソウ科

Hypericum ascyron L.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は50～130cm。葉は披針形で、長さは5～8cm, 対生して茎を抱く。茎は4稜あり, 直立し, 上部で分枝する。花期は7～8月で, 黄色い花をつける。花弁は5個あり, 左右不同で巴状にねじれる。

【分布の状況】

市内 市内では, 河川付近で確認されている。

その他 北海道, 本州に分布する。

【減少等の原因】

採取, 草地の減少, 観光開発



撮影: 市域外
写真提供: 笹川 通博

オオユリワサビ

アブラナ科

Eutrema okinosimense Taken.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

環境悪化, 希少

【形態など】

冬緑性の多年草。草丈は30～50cm。株の基部に4～5枚の鱗茎葉がついている。葉は卵円形で, 縁には波状の鋸歯がある。花期は3～4月で, 4弁の白い花をつける。開花結実した後に地上部が枯れ, 秋に再び葉を展開する。

【分布の状況】

市内 市内では, 山地で確認されている。

その他 本州から九州(岩手県～福岡県)までの日本海側に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変, 一般開発, 農薬使用



撮影: 市域内 写真提供: 石澤 進

【特記事項】

環境省カテゴリーでは, これまで絶滅種とされていたが, 野生個体群が再発見されたため, レッドリストの見直しに伴いランク外となった。

タコノアシ

ユキノシタ科

Penthorum chinense Pursh

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

環境悪化, 希少

【形態など】

多年草。草丈は30～70cm。葉は互生し、披針形で、長さは2.5～10cm、縁には鋸歯がある。茎の基部は地中にあり、数個の走出枝を出す。地上部は直立し、ほとんど分枝せず、無毛でしばしば淡紅色を帯びる。花期は8～10月で、茎の先端から数本の花序を出し、小花を多数つける。花色は黄緑色であるが、花弁は退化により見られない。

【分布の状況】

市内 市内では、河川付近で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少, 河川の改変, 観光開発, その他



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ハルユキノシタ

ユキノシタ科

Saxifraga nipponica Makino

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

採取, 希少

【形態など】

多年草。草丈は15～20cm。草全体に白く長い毛がある。太い根茎が地表を横に這う。地上部より伸びる茎は上部で分枝し、先端に白い花を多数つける。花弁は上側の3弁が小さな広卵形、下側の2弁が大きな長楕円形である。花期は4～5月。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 本州の関東から近畿にかけて分布する

【減少等の原因】

採取

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

ハマナス

バラ科

Rosa rugosa Thunb.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

落葉低木。樹高は100~150cm。茎には大小の刺が密生する。葉は奇数羽状複生で互生し、小葉は3~9個である。楕円形で、上面は濃緑色でつやがあり、しわが多い。花期は6~8月で、5弁の鮮やかな紅紫色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸砂丘で確認されている。

その他 北海道から茨城県までの太平洋側と島根県までの日本海側に分布する。

【減少等の原因】

採取, 河川の改変, 観光開発



撮影：市域外
写真提供：笹川 通博

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

サナギイチゴ

バラ科

Rubus pungens Cambessèdes

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

落葉低木。枝は長く横に這う。葉は羽状複生、5~7枚の小葉からなり、卵形で鋸歯がある。花期は5~6月で、刺のある枝先に、径約2cmで5弁の白色または淡紅色の花を1~2個、横向きにつける。

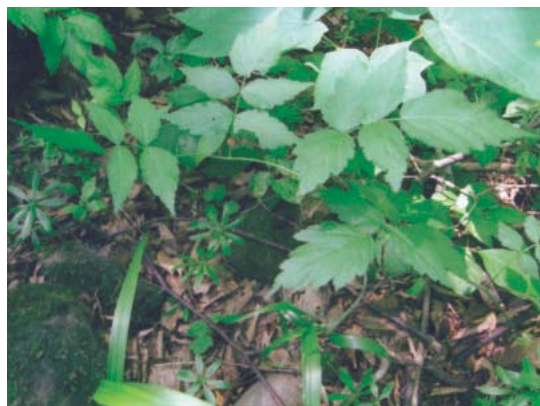
【分布の状況】

市内 市内では、過去に岩室地区で確認されている。

その他 本州, 四国, 九州の主に太平洋側に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

アイズシモツケ

バラ科

Spiraea chamaedryfolia L. var. *pilosa* (Nakai) H. Hara

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

落葉低木。樹高は約150cm。葉は互生し、長さは3～6cm、卵形で先端が尖る。表面が緑色で、裏面が淡緑色である。葉の辺縁は基部を除き重鋸歯である。花期は5～6月で、今年枝の先端に散房状花序を出し、10～20個の白い花をつける。花は直径約1cmで、花弁は5枚である。

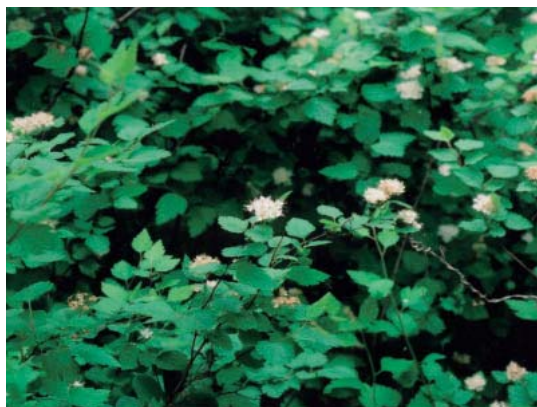
【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 北海道、本州（長野県以北）に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域内
写真提供：刘屋 寿

イヌハギ

マメ科

Lespedeza tomentosa (Thunb.) Sieb. ex Maxim.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は60～150cm。葉は3つの楕円形の小葉からなり、長さは3～7cm、黄褐色の軟毛が密生し、頂小葉が大きい。葉脈は隆起する。花期は7～9月で、黄白色の花が枝先に総状に集合する。閉鎖花が葉腋に多数集合する。

【分布の状況】

市内 市内では、住宅地で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ヒカゲスミレ

スミレ科

Viola yezoensis Maxim.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は7～12cm。地上茎はなく、根元から葉と花柄を出す。葉は長卵形で、長さは4～7cm、両面に毛が生えている。花柄には毛が多い。花期は4～5月で、白色の花をつける。花の唇弁と側弁には紫色の筋が入ることもある。

【分布の状況】

市内 市内では、山地や丘陵で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ミズマツバ

ミソハギ科

Rotala mexicana Cham. et Schtdl.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は3～10cm。茎は分枝しながら地面を這う。葉は線形で、長さは0.5～1cm、先が尖り、各節に3～4輪生となる。花期は8～10月で、葉腋に淡紅色の花を単生する。花弁がなく、萼が5裂する。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変



撮影：市域外
写真提供：石澤 進